

# 朝倉とともに 2017.11.25

防災士 朝倉災害支援ボランティア活動センター

代表 天野 時生 副代表 橋本 康弘

## 第14号

## 復興への希望 橙の灯を収穫



### 最盛期を迎えて

11月25日(土)志波の富有柿収穫は最盛期を迎え、4人の仲間で山肌に広がる3段の柿畑に入り、晴れたり曇ったりの天候の中で収穫作業を行った。

## 柿農家再生プロジェクトVII

この日、志波地域の柿畑ではあちらこちらで収穫作業が行われている。我々も収穫作業は複数回行ってきたが、今回は山の斜面の柿畑でまた、土砂崩れで車が通れず、歩いて坂道を登っていく場所があり、行くだけで体力を消耗した。作業も地面が平坦ではないため、足を踏ん張らなければならず、これまでとは比べものにならないほどかなり厳しい作業となった。しかし、

肩や足腰をほぐしながら、収穫作業は午後3時頃まで行われ、30ケース約600キロを収穫できた。



九州北部豪雨で亡くなられた方へ謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに早期の復旧・復興を祈念します。



朝10時過ぎ、4人は籠を背負って一斉に収穫作業に入った。一つひとつ摘み取り、籠に入れていくが実った柿は肩にずっしりとくる。重くなったらケースへ移し替えていく作業を繰り返していく。冷たい秋風の中でも汗ばむほどである。



休憩中、柿畑上部の道路が土砂の流れ込みで一部破壊されているのを見た。また、その道路脇には軽自動車があんとか一台通れるよう土砂を撤去した跡が残っており、通常なら稼働しているはずのモノレールも土砂で変形していた。

## 志波の富有柿 12月東京へ

遠野まごころネット様の運営する埼玉の復興支援ショップで志波の富有柿を販売していただいているが売れ行きは好調。さらに12月2日～5日には出張復興支援ショップが埼玉と東京で設置され、そこでも販売いただくこととなった。ぜひ多くの方に志波柿を味わってほしい。

